

# よこすか E C O 通信

第40号(令和3年3月)

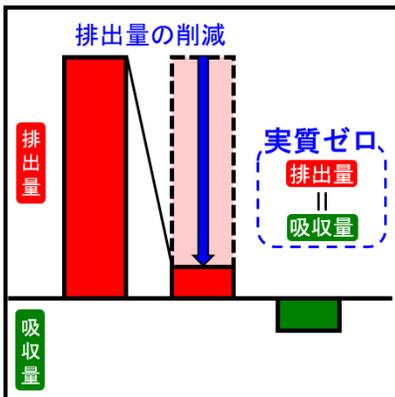
発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

## ～「2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ」に向けて～ 「横須賀市ゼロカーボンシティ」を宣言しました!

今、世界中で二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量が増え、地球の平均気温が上昇する「地球温暖化」は、猛暑、ゲリラ豪雨や台風の大型化など、気候変動による被害や災害の要因となっています。

このことから、国内外では「2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロ」にすることを目指しています。

こうした中で、横須賀市でも脱炭素社会への移行に向けた取り組みを進めていく姿勢や決意を表明するため、今年1月に「横須賀市ゼロカーボンシティ」を宣言しました。



### 実質ゼロ(ゼロカーボン)とは?

実際に日常生活や事業活動において二酸化炭素排出量をゼロにすることはできません。「実質ゼロ」とは二酸化炭素が排出される量と森林などで吸収される量が同じ量になる(プラスマイナスゼロ)状態のことで、「ゼロカーボン」とも言います。

### この10年の取り組みが大切!

2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロと言うと、約30年も先のことと感じるかもしれませんが、この**10年の取り組みが重要**だと言われています。

家庭での節電や省エネの取り組み、太陽光発電などの再生可能エネルギーや電気自動車の利用など地球温暖化対策の取り組みをひとりひとりができることから始め、市域全体で協力しながら進めていきましょう!



詳しくは、<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/ondanka/yokosuka-zeroarboncity.html>

2面は「春の環境学習講座などのおしらせ」、3面は「令和2年度 横須賀いいね★エコ活動賞」ほかのご案内、4面は「季節の自然図鑑」を掲載しています。

☆ HPは横須賀市HPから「ECO通信」で検索。(カラー版でご覧いただけます!)

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>



横須賀市ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界中で異常気象が発生し、日本各地においても、猛暑や豪雨による自然災害が頻発するなど、気候変動の影響が顕在化しています。

今後、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの増加による地球温暖化の進行に伴い、猛暑や豪雨などの気候変動のリスクは更に高まることが予測されており、こうしたリスクを低減させるためには、私たち一人ひとりが当事者としての危機感を持つことが重要です。

こうした背景から、本市では「2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ」を目指し、脱炭素社会への移行に向けた姿勢を示すための条例を制定するとともに、市民・市民団体・事業者と連携して地球温暖化対策の取り組みを進めていくことを、ここに宣言します。

令和3年(2021年)1月29日

横須賀市長 **と地克明**

宣言文

# 春の環境学習講座などのお知らせ



## 横須賀市自然・人文博物館

(第32回全国「みどりの愛護」のつどい開催記念)

### 企画展示「中央公園ものがたり

#### 一砲台山から中央公園、そして平和中央公園へー

4月にリニューアルを迎えた中央公園について、昔の写真やこれまでに集めた資料でふり返ります。

日時 4月24日(土)～6月27日(日)  
9:00～17:00

場所 横須賀市自然・人文博物館

3階特別展示室

入場 無料(申込不要)

### 「はっけん! 平和中央公園の自然」

平和中央公園で、植物をはじめとする生き物を観察し、一緒に「花マップ」や「花ごよみ」を作りましょう。

日時 5月16日(日)・6月19日(土)  
・9月5日(日)(全3回)

10:00～12:00

場所 横須賀市自然・人文博物館、平和中央公園

参加費 各回50円

定員 抽選20人(小学生以下は保護者同伴)

締切 5月1日(土)

#### ★事前申込制

申込方法 締切日までに往復はがきに以下の事項を記入して、下記申込先へ

往信面: ①行事名 ②参加者全員(家族のみ)  
の住所・氏名・年齢・電話番号

復信面: ①参加者(代表者)の住所 ②氏名

申込先・問合せ先

横須賀市自然・人文博物館

〒238-0016 横須賀市深田台95番地

電話046-824-3688

E-mail: m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

休館日: 月曜日(祝日、振替休日の場合は翌日)

## 横須賀市地球温暖化対策地域協議会 緑のカーテン作り方講習会

ゴーヤなどのツル性の植物を窓の外でカーテンのように育てて日陰を作る「緑のカーテン」の作り方を講師がわかりやすく説明します。

日時 5月12日(水) 14:00～15:30

場所 ヴェルクよこすか(勤労福祉会館)6階ホール

参加費 無料

対象 市内在住・在勤・在学の人

定員 先着60名

その他 参加者にはゴーヤの苗をプレゼント

申込 4月13日(火)～26日(月)

横須賀市コールセンターまたはネット申込

・横須賀市コールセンター: 電話046-822-2500

・ネット: <https://www.yokosuka-yksk.jp/index.html>

問合せ先 横須賀市地球温暖化対策地域協議会事務局  
(環境企画課内)

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

電話046-822-8524

E-mail:

stop-ondanka@city.yokosuka.kanagawa.jp



## 横須賀しぜん散歩

豊かな自然が残る光の丘水辺公園を、博物館の学芸員と一緒に歩きながら草花や昆虫などを観察します。

日時 5月15日(土) 10:00～12:00

場所 光の丘水辺公園(横須賀市光の丘4-1)

集合 光の丘水辺公園(雨天中止)

参加費 無料

定員 抽選20人(小学生以下は保護者同伴)

締切 4月1日(木)～4月25日(日)

その他 動きやすい服装、帽子、タオル、飲み物

申込方法 横須賀市コールセンターまたはネット申込

・横須賀市コールセンター: 電話046-822-2500

・ネット:



問合せ先 横須賀市環境政策部自然環境共生課

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

電話046-822-9749

E-mail: ne-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

## 水辺公園友の会

### キッズ自然教室Ⅱ(田植え・稲刈り)全5回

光の丘水辺公園で田植え等を通じて緑の保全と自然環境を学ぶ教室

第1回 オリエンテーションと自然観察  
5月1日(土) 9:00～12:00

第2回 田植え  
6月5日(土) 9:30～12:00

第3回 夜の森を歩く  
7月3日(土) 18:30～20:30

第4回 稲刈り  
10月9日(土) 9:30～12:00

第5回 脱穀  
11月13日(土) 9:30～12:00

参加費 250円(保険料)

対象 小学生、5回続けて参加できる方

定員 先着20人

締切 4月23日(金)



#### ★事前申込制

申込方法 締切日までにE-mail、FAXまたは往復はがきに以下の事項を記入して、下記申込先へ

往信面: 郵便番号・住所・氏名とフリガナ・  
年齢・電話番号

復信面: 参加者の住所・氏名

申込先・問合せ先

光の丘水辺公園

〒239-0847 横須賀市光の丘4-1

電話・FAX 046-849-7650

E-mail: mizube@ryokukazouen

※「春の環境学習講座などのお知らせ」に掲載している記事は、編集・発行スケジュールの都合上、変更・中止となる場合がありますので、実施状況につきましてはそれぞれの問合せ先に確認してください。

# 令和2年度 横須賀いいね★エコ活動賞



横須賀市では、環境意識の向上や環境活動の活性化のため、市内の団体や学校等における「いいね★」と言える環境活動を「横須賀いいね★エコ活動賞」として表彰しています。

今年度は、学校等での1年以内の活動が対象の【学校短期活動の部】から1園、過去に横須賀ECO大賞（旧制度）を受賞してから4年以上経過し現在も継続中の活動が対象の【功労賞】から3団体の受賞が決定しました。本号では、【功労賞の部】の3校の活動内容をご紹介します。

## NPO法人 横須賀港湾防災支援会

私たちの住む街「横須賀の海を美しく」

海に漂流している有害なプラスチックごみ、航行の障害となる大きな木材等の除去作業を行っています。地域社会の向上に寄与することを目的としています。



## 横須賀市立追浜中学校科学部

学校の横を流れる私たちにとって身近な「鷹取川」。

科学部では、「鷹取川」の8箇所水質調査と流域で見られる生物の調査を続けてきました。

また、追浜中学校では、平成8年(1996年)より、「鷹取川」に沿ってフラワーラインを創設し、春には菜の花、秋にはコスモスを植え、地域の方々にも親しまれています。

これからも、40年間続く調査活動を、絶やすことないよう継続し、地域の自然環境の向上やその保全に貢献していきたいと思えます。



## 三浦半島「自然ふれあい楽校」

三浦丘陵の最高峰・大楠山とその西南に広がる約112haの「湘南国際村めぐりの森」は、平作川・前田川・関根川の水源であり、地域の貴重な“みどり”の拠点です。

その重要性を理解して、保全・再生のための活動や作業に加わる人材を育成するため、活動を行っています。



問合せ先：横須賀市環境政策部環境企画課 電話046-822-8327

## 第32回全国「みどりの愛護」のつどい 2021年・秋、横須賀市で開催！！

- 会場 中央公園、横須賀市文化会館
- 行事内容 「みどりの愛護」功労者への表彰、記念植樹等

5月4日の「みどりの日」は、自然に親しむとともに自然の恵みに感謝する日です。自然と触れ合う時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか？

【公式】Twitterアカウント @yokosuka\_midori



主催：第32回全国「みどりの愛護」のつどい実行委員会（国土交通省、神奈川県、横須賀市）  
問合せ先：横須賀市環境政策部自然環境共生課みどりの愛護担当 電話046-822-9982



# 季節の自然図鑑



## 第40回 「春の渡り鳥」

野鳥には冬になると越冬のために北方の繁殖地から温暖な横須賀市周辺へとやってくる「冬鳥」と呼ばれる鳥たちがいることは以前に紹介させていただきましたが、春には違った形で姿をあらわす渡り鳥がいます。「旅鳥(たびどり)」と呼ばれる出現様式の渡り鳥です。

旅鳥は長い距離を移動する途中で横須賀市周辺で「ひと休み」する鳥たちです。冬鳥の渡りが、シベリアなど北方の繁殖地と横須賀市周辺の越冬地の間の移動であったのに対して、旅鳥は繁殖地のシベリアから熱帯や亜熱帯地域にまで及ぶものや、オーストラリアの南部からエサを求めて1年をかけて日本や北アメリカ大陸西海岸を経由してオーストラリアに至るコースで太平洋をほぼ半周し、3万2千kmにおよぶ旅をするものもあります。

シギやチドリのなかまの多くは、北方で繁殖して熱帯・亜熱帯地方で越冬する往復の旅の途中、春と秋に姿を見せます。特に春はまだ若い鳥たちが多く、栄養をつけながらゆっくり旅をするので、横須賀市の海岸に長く滞在する傾向があります。

太平洋半周の旅をするものの代表はハシボソミズナギドリです。春にエサの小魚やオキアミが多く発生する横須賀市の沖合いにやってきましたが、その年に生まれた体力のない若い鳥たちの中には、春の嵐に巻き込まれて海岸に打ち上げられてしまい、旅半ばで命を落とすものもあります。



長くちばしでカニをとらえたチュウシャクシギ



干潟で翼を休めるメダイチドリの群れ



海岸に打ち上げられて死んでしまったハシボソミズナギドリの博物館標本

(横須賀市自然・人文博物館 萩原清司)

## みなさまからのECOな情報も募集しています。

発行:横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力:横須賀市自然・人文博物館  
(発行元)〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課  
TEL 046-822-8327 FAX 046-821-1523  
E-mail: [ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp)

「環境教育・環境学習ネットワーク会議」は、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

